



『満つれば欠け 欠ければ満つ』

私がまだ南禅寺で修行していたころ、年に二度しばしのお暇（暫暇：ざんか）を頂いて正光寺に戻ってくると、待ちかねていたかのように近くの和尚さんがやってきました。今は亡きK寺さんといつも元気なD寺さんです。お二人とも長く修行をされた私の敬愛するまさに「禅坊主」なのですが、父と母はいつもこの二人を招いては酒肴でもてなしていました。酒が進むにつれていつも通りに禅談議が盛り上がっていきます。小僧時代の話や終戦後の食糧難下の道場での工夫話、禅問答と先輩雲水に絞られた苦労話をそれはそれはおもしろおかしく興味深く語ってくれたものです。そしていつも最後には「満つれば欠け、欠ければ満つちゃ」と呵々大笑しておられました。

雲水姿がまだ身にもついていない私は修行の疲れや迷いを持ち帰っていたのですが、こうしたダボラ話に修行の面白さ禅の奥深さを予感しながら「語りつくす山雲海月の情」にどっぷりと浸かって心身の湯治となっていたような気がします。

私たちは順風満帆の時もあるし、そうでない時もあります。思い通りにならぬのが世の常です。無常の世を「満つれば欠け、欠ければ満つちゃわい」と笑い飛ばせる境涯は禅体験に裏打ちされていますので、誰をも元気にしてしまいます。同じように「一得一失ぢやからのう」とも…。父もD寺さんも今は鬼籍に入ってしまったのですが、あの夜語りは今でも私の肥やしとなっていますし、宝であると誇れるものです。秋の夜長、久しぶりに酌み交わしたいと願いもしますが、「名月や 月はなくとも 月見酒」とやはり豪快に呵々大笑されるのでしょうかね、きっと。

【特別展 臨濟禪師1150年
白隠禪師250年遠諱記念】

方広寺本尊様特別展示

禅

心をかた
たち



The Art of
ZEN
From Mind to Form

禅の名宝、東博に集結！

2016年 10月18日(火) - 11月27日(日)

開館時間・午前9時30分～午後5時、金曜日と10月22日(土)、11月3日(木・祝)、5日(土)は午後8時まで ※入館は閉館の30分前まで 休館日・月曜日
主催・東京国立博物館、臨濟宗黄檗宗連合各派合議所、日本経済新聞社、BSジャパン
協賛・損保ジャパン日本興亜、東レ、トヨタ自動車、日本写真印刷、日本ロレックス
協力・大光電機、三菱レイヨン

東京国立博物館 平成館
TOKYO NATIONAL MUSEUM(UENO PARK) [上野公園]



